



コラム 派遣研究員レポート

名前	所属	派遣期間
王 子成	華東師範大学中国非物質文化遺産研究中心	2015年12月1日～2015年12月17日
平田 茉莉子	ブリティッシュコロンビア大学アジア学科	2016年2月2日～2016年2月21日
王 鶴	フランス国立高等研究院東アジア文明研究センター	2016年4月21日～2016年5月11日

華東師範大学中国非物質文化遺産保護研究中心での訪問研究



王 子成
(外国語学部中国言語文化専攻 博士後期課程)

2015年12月1日からの17日間、私は神奈川大学非文字資料研究センターの若手派遣研究員として、中国の華東師範大学非物質文化遺産保護研究中心を訪れ、上海、杭州及び衢州の媽祖信仰について調査を行った。

通俗文学研究を専門とする筆者にとって、古典小説の中に描かれた地方神信仰の社会的・文化的側面を研究することによって、民間信仰と文学の繋がりについて探りたい。

なぜ上海、杭州及び衢州的いわゆる江浙地域に調査地を定めたかという点、媽祖信仰は古典小説に頻繁に見られる江南地域の水神物語とどのような関係があるのかを知るためと、文学作品における媽祖の人物像の形成過程を研究するためである。

12月1日に、今回の訪問先の華東師範大学に到着し、中国民俗学研究の重鎮である陳勤建先生のご指導を賜った。

翌日、華東師範大学博士後期課程に在籍する蘭曉敏さんに同行していただき、上海、杭州及び衢州的媽祖信仰について調査を始めた。

上海での最初の調査は、松江の方塔園にある浦江媽祖廟であった。2日から4日にかけて、上海市内の郷土神廟、水神廟を調査した。豫園に隣接する城隍廟の中には、上海の郷土神である城隍神はもちろんのこと、道教の神々も祀られている。興味深いことは、廟の管理者である道士たちが道教の慈航真人に媽祖を習合し、祭祀することである。最後に市内の昆明路73号提籃橋地区にある下海廟を訪ねた。かつての提籃橋地区は海の入江になっており、水運と交通の要衝であった。そこに水神廟が建てられ、航海の守護神たちが祭祀されていた。今の下海廟には、仏教の神々と共に媽祖が分霊祭祀されている。

このように、媽祖信仰には単なる水神信仰だけでなく、仏教、道教の様々な神格と習合が見られる。こうした神

仏習合は、文学作品にも反映された。例えば、明の呉選初が著作した『天妃出身濟世傳』における媽祖の人物像には、正に仏教、道教、儒教のいわゆる三教合一の特性が備わっている。

今回の現地調査を通して、民間信仰が文学における媽祖の形成に与える影響を再認識することとなった。

また、上海に滞在している間、華東師範大学図書館、上海博物館を利用し、資料の調査と見学を行った。

つづいて、5日から11日にかけて、杭州、金華、衢州的媽祖信仰について調査を行った。杭州博物館、図書館を利用したのち、文献資料と杭州の地方誌に基づいて、呉山、古武林門周辺、孩児巷をまわって調査をした。残念なことに、媽祖廟は既に現存しない。だが、呉山で昔盛んだった媽祖信仰は今では観音信仰に形を変えている。その理由は、今の時代では海上貿易におけるリスクが減ったと推測され、媽祖が必要とされなくなり、その代替



写真1 方塔園にある浦江媽祖廟



写真2 上海下海廟

として観音信仰が盛んになったと考えられよう。

杭州の次は、金華に赴いた。金華市博物館で見学をしてから、金華市図書館に行き、資料を調べた。金華での最大の収穫といえば、やはり良渚文化の出土品を自らの目で見て、



写真3 杭州の古武林門跡地

直に解説を聞くことで、稲作文化の歴史について理解を深め、稲作文化と水神の繋がりを歴史の実物を通して実感できたことであった⁽¹⁾。



写真4 呉山の観音信仰

金華の次は、衢州を訪れた。衢州は文字通り、四通八達している。町の南は福建の南平と隣



写真5 杭州孩児巷

接し、水路を通して、煬帝の時に開削された大運河と繋がっている。そのため、衢州は交通の要衝として発達し、貿易が盛んであった。私は『衢州府誌』、『衢県誌』の記載に従って、天皇巷の媽祖廟を調査した。媽祖廟は市の中心地域にあることから、媽祖信仰が繁栄していた往時

の面影を今でもしのぶことができる。

12日に上海に戻って調査資料をまとめ、



「調査成果 写真6 金華市博物館の稲作における展示

報告会」の準備をした。その間、華東師範大学の先生の勧めで、上海で開催された敦煌文化展覧会を見学した。15日に華東師範大学で報告をし、2日後に神奈川大学に戻った。



写真7 天皇巷の入り口

今回の訪問調査は陳勤建先生と蘭曉敏さんのおかげ

で、研究成果が大いに実った。陳先生のご指導及び蘭さんの親切な支援に心から感謝し、これからも研究に邁進していきたい。



写真8 天皇巷天妃宮

〔注〕

(1) 鈴木陽一「白蛇伝」の解説—都市と小説 / 神奈川大学人文研究所所報(23)、p15-36 に稲作文化と水神について論述があった。

バンクーバーにおける収蔵資料等の保存・修復について

平田 茉莉子
(歴史民俗資料学研究所)



海外には、多くの日本コレクションを所蔵している博

物館・美術館が存在している。それらの博物館・美術館